

 **生活協同組合しまね**

本部/組合員会館 〒690-0017 松江市西津田1丁目10-40

商品センター 〒693-0043 出雲市長浜町516-41

松江北支所 〒690-0871 松江市東奥谷町362-1

松江南支所 〒699-0111 松江市東出雲町意宇南3丁目1-1

出雲支所 〒693-0058 出雲市矢野町487-1

雲南支所 〒690-2404 雲南市三刀屋町三刀屋1249

大田支所 〒694-0064 大田市大田町口1177-1

浜田支所 〒697-0006 浜田市下府町327-135

益田支所 〒698-0041 益田市高津6丁目15-49

隠岐の島出張所 〒685-0021 隠岐郡隠岐の島町岬町川原田の一20

●生協しまねホームページ
<https://www.coop-shimane.jp/>



●生協しまねInstagram
https://www.instagram.com/coop_shimane/



CSR REPORT 2025

Corporate Social Responsibility 2025

事業・社会・環境活動についての報告書

共に生き 
 共に創る豊かな暮らし

 **生活協同組合しまね**

CSRレポート発刊にあたって

理事長 安井 光夫



ビジョン「共に生き 共に創る豊かな暮らし」実現は、SDGsが目指す世界と重ね合わせることができます。CSR Report2025「事業・社会・環境活動についての報告書」は、SDGsという物差しを通じて、この1年間の自分たちの活動の歩みを検証したものです。SDGsは、誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を創りだしていくための道しるべです。

昨年度は、生協しまね創立40周年ということで、11月に開催した記念式典には丸山島根県知事をはじめ、下森津和野町長ほか行政の皆さま、全国各地の生協の皆さま、お取引先の皆さま等にお集まりいただき、盛大に40周年を祝う記念式典を開催することができました。改めまして40年間にわたり支えていただいたすべての組合員、関係の方々にお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。併せて、40周年が節目となり、行政との関りも大きく転換した年になりました。昨年2月に締結した益田市との地域活性化連携協定を皮切りに、8月には津和野町との高齢者見守り連携協定締結、今年に入ってからは奥出雲町、吉賀町、美郷町の各町長との懇談会の開催、そして直近では大田市、出雲市との包括連携協定の締結など、少子高齢化と人口の急激な減少にある島根県にあって、より多くの人達による連携の力で、地域を支えるネットワークが形づくられていくプロセスの中に、生協しまねも共に創る一員として位置付けられたことに、この上ない喜びを感じずにはいられません。

さて、創立から41年目を迎える2025年度も、引き続き厳しい事業経営となることが予想されます。ガソリン代は190円台目前であり、電気料金の補助もあてになりません。また、帝国データバンクは2025年の食品値上げが2万品目にまで達すると報道しています。中でも主食となるコメの値段は備蓄米放出の効果もなく5kgで4,200円(前年比190%)にまで達し、記録的な食料品の価格高騰は、さらに家計を圧迫することになります。暮らしの厳しさは増すばかりですが、全国の生協と連帯し、今年度も「暮らし応援全国キャンペーン」を展開し、価格対応に取り組みます。

最後になりますが、世界情勢は益々混沌とし、ロシアによるウクライナ軍事侵攻の長期化に加え、トランプ米政権による関税政策によって貿易戦争激化への懸念が高まっています。そのような中、昨年末には日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞しました。この受賞は、これまで培ってきた市民による活動への世界的評価に加え、核兵器禁止・廃絶への危機感の表れであり、今年の被爆・戦後80年の節目にあたり、次世代への継承や核兵器廃絶に向け被爆国日本が世界をリードし先頭に立ち取り組むべき課題であることを示唆しています。1951年に設立された日本生活協同組合連合会の創立宣言で掲げられた「平和とより良き生活のために」を引き継ぎ、平和が前提である普通の暮らしこそ守るべきものとして、「共に生き 共に創る豊かな暮らし」の実現に向け組合員と一緒に歩んでいきます。そして、引き続きエシカル消費の推進と地球温暖化対策、子どもの貧困問題等の課題を掲げ、「観客ではなく選手」として、積極的に取り組んでいきます。今年度もよろしくお願ひします。

生協しまねの概要

| | | | |
|----------|-----------------------------|-----------|----------------------|
| ■名称 | 生活協同組合しまね | ■事業所 | 支所7カ所 商品センター・隠岐の島出張所 |
| ■本部 | 〒690-0017 島根県松江市西津田1丁目10-40 | ■2024年度概況 | ○組合員数 72,744人 |
| ■理事長 | 安井 光夫 | | ○供給高 94億7,447万円 |
| ■設立 | 1984年11月19日 | | ○出資金 31億 212万円 |
| ■事業活動エリア | 島根県内 | | ○職員 293人 |

生協しまねビジョン (2017年第33回通常総代会決議)



はじめに

私たちは、生協しまね2000年ビジョン「想いをかたちに～共に創る豊かな暮らし」を掲げ、「一人ひとりが自分らしく生きる」ということを活動の指針とし、「暮らし発」の事業や組合員活動に取り組んできました。

そして、ビジョンのもとでの活動は、「人と人との関わりがより豊かになればなるほど、新たな活力、元気が生まれ、豊かな暮らしづくりへとつながっていく」ことを導き出しました。現に、班をはじめ生協の集まりの場では、お互いに自分の想いを発信しながらも、その場をより良いものにするためのはたらきかけが生まれています。それは、お互いを「思いやる心」の循環を生み出して「共に生き、共に創る」共存在の居場所づくりにつながっていきます。

一方で、急速な少子高齢化・人口減少、コミュニティの衰退、くらしや「食」の市場化等が人々の孤立を招き、私たちを取り巻く社会は見通しの立てづらい不安に満ちた状態です。とりわけ、くらしの根本である日常的な「食」が、ないがしろにされるような傾向は事態の深刻さを端的に示しています。

私たちは、このような中において組合員・生産者・職員と共に、日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを強めていきます。

そして、つながりを通じてお互いの存在とくらしを認め合い、尊重し合える関係の中で「一人ひとりの自分らしくくらしづくり」に軸足を置き、「私たちの未来は、今のくらし振りから生み出される」ことを自覚しつつ進みます。

さらに、さまざまな「場」においては、お互いの当事者感覚を大切にしながら「共に生き、共に創る」組織として連携と協同を広げ、誰もがくらしやすい社会を創り出していきます。

ビジョンを実現するうえで大切にしたいこと

1. 私たちは、一人ひとりが「自分らしく生きる」とこと、人との関わりをより豊かにすることを大切にしていきます。
2. 私たちは、おしゃべりから生まれる知恵や元気、安心感、共感を大切に、新しいくらしづくりにつなげていきます。
3. 私たちは、安全安心な「食」を基本にして、一人ひとりの「くらし発」の想いや工夫を交流し、つなぎ、より豊かな「食文化」を創っていきます。
4. 私たちは、安心して住み続けられる地域をめざし、他団体や行政などと連携・協同して、新たな生協の役割を創っていきます。
5. 職員は、組合員から得たくらしの知恵や工夫をつなぎ、循環させて、組合員のよりよいくらしづくりに役割を発揮します。

2024年度方針

- 1 日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを強めていきます。そのためには、普段の暮らしを持ち寄ること、特に商品を真ん中にしたくらしのおしゃべりは、共感や発見、そして「自分らしく生きる」ことにもつながり、人間の持つ社会性を育む上でも大切なことだと考えます。
- 2 人と人との関係性が希薄化する中、地域社会において、「連携する力、つなぐ力、つながる力」を磨き、新たな関係性を生み出していきます。そして誰もが安心してくらし続けることができる持続可能な地域社会をめざし役割を果たしていきます。
- 3 共に生き、共に創る」組織として、「つながる」ことを基本とした生協の運営や事業は益々重要です。職員も組合員も取引先も共につながって、ビジョン実現に向け活動していきます。
- 4 SDGsをさらに進め「誰一人とり残さない社会」実現に向け努力していきます。
- 5 県内農業への支援、農産物の普及をめざし、農産物の集荷・出荷機能を高めると共に、新たな物流の構築と障がい者雇用が可能となる事業の拡大を目標に、「(株)まい・しまね流通ラボ」を強化していきます。
- 6 2024年11月で、創立40周年を迎えました。地域や組合員、役職員と共に40周年を祝い、つなぐ力、つながる力、連携する力を一層発揮し、いつまでも安心して住み続けることができる地域を創っていきます。

食の安心と安全を創り出す方針

～生協しまねは、組合員・メーカー・生産者といっしょになって「食の安心・安全を創り出す」ことを大切にすすめていきます～

(2010年6月22日 第26回通常総代会決議)

はじめに

一連の食品偽装やギョーザ事件など「食」に対する不安から生協への信頼もゆらぎました。また、国内の食料自給率(カロリーベース)は40%前後で推移し食料の多くを海外に依存している状況があります。

このような状況に対して、信頼関係に基づき取り組んできた産地提携や産地交流に加え、品質管理を強化してきました。

『「安心・安全」は誰かが与えてくれるものではなく、組合員・メーカー・生産者が一緒になって創りあげていくもの』ということを改めて確認し、「食の安心・安全を創り出す」方針とします。

1. 食品の安全性を担保するための科学的な基準と品質を保証する体系(品質管理、物流管理、危機管理等)に基づいた取り組みを進め、その進捗状況を確認・点検をしていきます。
2. 輸入原料や外国産商品への理解や、安全性の確保の取り組みをすすめます。
3. 「生産ー消費」をつなぐ産直活動の推進や、県内産原料を使った生協商品の利用を通じて、国内自給率(国内自給力)の向上や地産地消の取り組みをすすめます。
4. 組合員自身が商品について、自分で判断し選択できるようにわかりやすい情報を提供し、体験学習・交流の場をつくっていきます。
5. 「食」や「食料自給率(食料自給力)向上」等の課題について、行政や各協同組合と力を合わせて地域で一緒に考える場への積極的な参加とともに、場作りについて努力します。

2024年度「微生物検査」と「残留農薬検査」について

微生物検査

生協しまねの開発商品^(※1)は、食中毒の原因となる細菌^(※2)について、年間計画で検査商品と検査月を決め、コープCSネット^(※3)に委託して検査を実施しています。2024年度は29件を実施し、全て基準値内で問題のないことを確認しました。

残留農薬検査

生協しまねの産直農産物は、『産直基準書』の中で「農薬の使用は、農薬取締法の安全使用基準『使用農薬基準』を遵守していること」としています。生協しまねでは、各産直農産物の収穫に合わせて年1回、コープCSネットに委託して残留農薬検査を実施しています。2024年度は20件を実施し、全て基準値内で問題のないことを確認しました。

こうした定期的な検査によって、今後も安全な商品のお届けに努めます。

※1: まい!しまねの牛乳、まい!しまねの1.0低脂肪牛乳、ヨーグルトプレーン、県内産大豆100%もめんとうふ、まい!とうふじゅうてんくんなど6品
 ※2: 一般生菌数、大腸菌群、大腸菌、黄色ブドウ球菌
 ※3: コープCSネット品質保証部商品検査課(広島市東区)

SDGsに対する生協しまねの考え方

SDGs(エスディージーズ:持続可能な開発目標)は、国連に加盟する全ての国々(193カ国)で「今、全世界が取り組むべき課題」として採択された目標で、発展途上国・先進国に関わらず、世界中の全ての人々が目指すべきゴールです。「誰一人取り残さない持続可能な社会」の実現を目指して2016年1月をスタートとし、2030年までに、今、生きている人々だけでなく何世代も先の人々が、この地球で人間らしく暮らし続けられるための必要な17の目標が掲げられ、その達成のための取り組みが世界で進められています。

生協しまねビジョン「共に生き、共に創る豊かな暮らし」実現は、SDGsが目指す世界と重ね合わせる事ができます。また、SDGsは、誰もが安心して暮らし続けることができる地域社会を創りだしていくための道標でもあります。

私たち、一人ひとは、日々の暮らしの中で社会とのつながりを意識し「観客ではなく選手」として、エシカルな選択ができるよう学び、交流し、実践していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



CONTENTS

生協しまねが取り組んでいる事業・活動の中で、SDGs実現に関連する事柄に、それぞれSDGs(17の目標)のアイコンを掲載しています。

| | | |
|--|--|--|
| <p>P5-7</p> <p>誰もが安心して暮らせる地域づくりのために</p> <ul style="list-style-type: none"> •各地域での生産者・取引先との交流会 •交通安全教室 •おしゃべりくらぶ・子育てくらぶ・サークル •フードバンクしまね「あったか元氣便」、カタログを使ったフードドライブ •「夕食宅配」「介護食・健康管理食」 •リーディングサービス •募金 | <p>P8-9</p> <p>災害支援と防災・地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> •日御碕支援 •HUG防災についての学習 •津和野町との高齢者見守り協定締結 •匹見下地区協同による買い物支援 •大田市との包括連携協定締結 •都万ステーション開設 | <p>P10</p> <p>世界中の人々が平和で健康な生活を送るために</p> <ul style="list-style-type: none"> •折り鶴昇華再生活動 •戦争体験を語り継ぐ集い •ピースアクション・ピースリレー40周年記念企画 みんなで平和について考えよう! |
| <p>P11-12</p> <p>持続可能な生産と消費のために</p> <ul style="list-style-type: none"> •産直の取り組み •エシカル消費の取り組み •もすく基金 •食の安心・安全について | <p>P13</p> <p>未来の地球のために</p> <ul style="list-style-type: none"> •電気使用状況 •車両燃料使用状況 •リサイクル活動 •生協しまねソーラー発電所の取り組み | <p>P14-16</p> <p>人にやさしく誇りがもてる組織を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> •職場の安全・安心 •品質マネジメントシステムの取り組み |

誰もが安心して暮らせる 地域づくりのために

私たちの暮らしの中でもっとも大切なことのひとつに、“食”があります。“安心・安全”は誰かが与えてくれるものではなく、組合員・メーカー・生産者と一緒になって創り上げていくものという考えのもと、生産者・メーカーと組合員が互いに理解し合う取り組みを行っています。

各地域での生産者・取引先との交流

東部エリア 理事会 タカキベーカリーお出かけ企画

東部エリア理事会が『熟仕込食パン』でお馴染みの「タカキベーカリー」の工場見学を企画し、組合員・職員・理事あわせて24名が参加しました。商品について理解を深めたり、パンの食べ方の提案もあり、参加者にとってたくさんの発見がありました。

工場で製造されたパンが翌日配送されると聞き驚きました。クリーンな工場で製造されていることがよく分かり、安心して食べられると思いました。



隠岐の島支所 エリア委員会 トキワお招き企画

隠岐の島支所エリア委員会は、使って便利・作って楽しい生協商品を知ってもらおうと、(株)トキワをお招きして、学習会&試食会を企画しました。トキワの商品がなぜおいしく安心して使用できるのか1つ1つの商品について分かりやすく説明していただきました。

地元の商品ということで、とても愛を感じました。いろいろな料理に使えるということでこれから使ってみようと思います。



益田支所 エリア委員会 JA全農ミートフーズ「夏休み親子お出かけ企画」

益田支所エリア委員会は、親子で一緒に「食」のことを学びたい、食肉の加工の様子を見たいとの思いから、JA全農ミートフーズへ訪問しました。また、お子さんにも学習の機会になるようにと夏休みに企画し、たくさんの親子にご参加いただきました。

牛の成長の過程、加工の流れなど詳しく知ることができました。生産者・加工者が手間暇かけている分、消費者としてもひと手間を惜しまず食すことが大切だと感じました。子どもたちもいい経験ができました。



浜田支所・益田支所 エリア委員会 垣崎醤油お出かけ企画

浜田支所・益田支所エリア委員会は、地元企業の取り組みを知り、こだわりの「味」を守るための知恵と技とを学ぶために垣崎醤油を訪問しました。醤油の作り方や人気の秘密について知ることができました。

工場での説明や、樽をかき混ぜる体験を通じてしっかり知識として吸収することができました。醤油やみそ等の商品に対する愛情や地域貢献活動も素晴らしいと思いました。



交通安全教室

40周年記念事業として交通安全教室を行いました。大田市、浜田市、隠岐の島の小学校3校に乗車体験を通じトラックの死角を知ってもらったり、横断歩道の渡り方などを練習しました。児童のみなさんも元気に体験してくれました。

トラックの周りには見えない場所がたくさんあることが分かったので、今度からトラックの周りでは遊ばないようにします。



おしゃべりくらぶ・子育てくらぶ・サークル

楽しくおしゃべりすることが日々の活力や暮らしの豊かさにつながります。人と人がつながる場を応援するため、おしゃべりくらぶ、子育てくらぶ、サークルの結成を後押ししました。

おしゃべりくらぶ「津和野おしゃべりくらぶ」

町内外の貴重な情報を得る場になっているので、無くてはならない場所です。しゃべること・笑うことは心身ともに健康に良いので、できるだけ長く続けていきたいです。



子育てくらぶ「H.ママ」

生協の試食品を食べながら子育ての情報を交換しています。よく顔を合わせるので悩みなどすぐ聞けるのが良いです。先輩ママに次はこうなるんだと、少し先の話が聞けるので参考になります。



サークル「COOK&GO」

気になっていることを試したいけど1人ではできない。みんなと一緒にできるんです。この出会いに感謝しています。毎週みんなとおしゃべりするのがとても楽しみで、みんなからいろいろな情報をもらっています。



夕食宅配「介護食・健康管理食」



「夕食宅配」のお届けは、見守り応援の役割を果たす一面もあります。現在1日あたり約1,641食をお届けしています。また、2020年より「介護食・健康管理食」のお届けをスタートしました。

リーディングサービス



カタログ「CIEL」「だいすき」などの商品名、価格などを読む声をCDに吹き込み、『聴くカタログ(声のシエル)』を作成しています。目の不自由な方、買い物に不自由を感じていらっしゃる方などにご利用いただいています。

フードバンクしまね「あったか元気便」



家庭や職場で使用しない食品を集めて生活困窮家庭へ届けるフードバンクしまね「あったか元気便」。地域つながりセンターをはじめ諸団体と共に取り組んでいます。現在は松江市内の28校の小・中学校を対象とするまでに広がりました。7月8日～8月2日の期間には組合員のみなさんに「フードバンク支援募金」を呼びかけ総額607,024円の募金が寄せられました。

カタログを使ったフードドライブ



組合員さんが商品を購入し、その商品を直接フードバンクしまね「あったか元気便」へ寄贈するという新しいカタチでのフードドライブを試験的に松江北支所・松江南支所で実施しました。

150名の組合員にご協力いただき、816点の商品を寄付することができました。

募金

〈ミャンマー指定募金〉

2025年1月20日～2月7日の期間、『ミャンマー指定募金』の協力を組合員のみなさんをお願いをしたところ、482,116円の募金が寄せられました。寄せられた募金は、3月28日に日本ユニセフ協会へ送金しました。

〈(株)旭養鶏舎 応援募金〉

鳥インフルエンザの発生に伴い、(株)旭養鶏舎 応援募金』の協力を2025年2月17日～21日の期間で、組合員のみなさんをお願いをしたところ、1,279,561円の募金が寄せられました。募金の贈呈は6月17日(火)の第41回通常総代会にて行います。

〈「令和6年度能登半島地震及び能登豪雨災害」支援募金〉

2024年10月21日～11月8日の期間、「令和6年度能登半島地震及び能登豪雨災害」支援募金の協力を組合員のみなさんをお願いをしたところ、2,023,628円の募金が寄せられました。寄せられた募金は、1月31日に日本生協連へ送金しました。

みなさまからのご協力に心からお礼申し上げます。

日御碕支援

7月9日(火)、激しい大雨の影響により、日御碕地区と市の中心部とを結ぶ県道29号が崩落し、日御碕地区の235世帯がほぼ孤立状態となりました。日御碕地区には当時62名の組合員が在籍しており、商品のお届けが危ぶまれましたが、組合員に生協商品をお届けするために知恵を出し合い、職員のご家族やJFの協力を得ることで、漁船を使用して海路で商品をお届けすることができました。



生協が無かったら食が底をついていました。県道崩落後、生協が商品をお届けくださるということで、本当に助かり、これまでで一番生協に加入していた安心感を覚えました。
(日御碕でご利用の組合員の声より)

組合員のみなさんがお元気そうで、ひとまず安心しました。また、我々を笑顔で迎えてくださったのが大変うれしかったです。宇龍港での受け取り場が組合員どうしの安否確認の場にもなっていたように感じます。無事に商品をお届けできて本当に良かったです。



当時の担当職員：手銭

HUG防災についての学習

3月19日(水)に西部エリアの浜田支所・益田支所エリア委員会が合同で、三隅まちづくりセンターにて浜田市役所三隅支所の自治防災課の方をお招きして「HUG」を体験しました。



HUG(ハグ)…H(避難所)、U(運営)、G(ゲーム)

さまざまな出来事や避難者の内容(ペットと一緒に、病気、幼児など)を考慮して、避難所の部屋割りをするのは、即時判断が難しかったのですが、みんなで活発に意見交換しながら進めることができました。

津和野町との「高齢者見守り協定」締結



8月9日、津和野町と「高齢者の見守り連携協定」を締結しました。

協定を結ぶことで、津和野町と生協しまねが相互に連携し、高齢者の要援護者の早期把握、必要な支援が行えるように協力していきます。商品をお届けする際や夕食宅配弁当をお届けする際に、郵便物がたまっている、注文商品の急激な変化があるなど、現場の状況から行政の支援が必要であると判断した場合は、町の地域包括支援センターにつなげていきます。

大田市との包括連携協定



2025年3月27日 大田市と生協しまねは「包括連携協定」を締結しました。お互いの強みを活かしながら、安心安全な暮らしづくりにつながるよう、子育て支援や地産地消の推進などの分野を含んだ全7項目について、包括連携を締結しました。

今回の協定締結をキックオフとし、協議を重ねながら、具体的な施策についても検討を行っています。

匹見下地区 協同による買い物支援



益田市匹見下いの里づくり協議会と生協しまねは、協同による買い物支援の取り組みをスタートしました。住民の暮らしを便利にしたいという、いの里づくり協議会から協力の要請があり、これまで様々な検討を行ってきました。2024年5月21日、協同による買い物支援がスタートしました。今回の取り組みは他の地区でのモデルケースになると期待をしています。「誰もが安心してらせる地域」を目指して、生協のインフラを活用して、地域と一緒に買い物支援・介護・見守り等の問題について解決を図っていきたいと思います。

都万ステーション開設



隠岐の島にはステーションが2ヶ所(岬、五箇)ありますが、都万地区周辺の組合員さんはステーションまで車で20分以上かかります。「天気の悪くなる冬場や高齢化でステーションまで取りに行くのが大変。もう少し近くまで届けてもらえないか?」という要望があり、その声を形にしたいという思いから、地域の組合員さんと話し合いを重ね、都万地区にもステーションが開設されました。地元の方の協力で荷受け場所も地域の集会所を借りることができ、当番も組合員さんがボランティアで行っています。開設当初は25名からのスタートでしたが、その後50名近くまで利用が増え、地域で広がりを見せています。

折り鶴昇華再生活動

世界中から広島市の平和記念公園に届けられる折り鶴を再生原料になるよう分別し、ノートやカレンダーなどの商品化に役立てる「折鶴昇華再生活動」は2024年度で9年目となりました。今年は18か所、226人が参加されました。



折り鶴にメッセージが書かれていることがあり、鶴を分別しながら戦争についての話が自然と出てきて平和を強く願う時間になっています。戦時中や昔の苦労された経験はよく覚えておられ、この活動をする時間があるからこそ当時のお話を聞くことができ、とても貴重な時間です。

ピースリレー



7月20日、米子市にて『ピースリレー』日本海コースの平和行進・引継ぎ式を行いました。島根県からは14名が参加し、平和を訴えました。

ピースアクション



8月4日～5日、広島県で2024ピースアクション INヒロシマが行われ、生協しまねの組合員1家族が参加し、2日間に渡り平和について学びました。

戦争体験を語り継ぐ集い



12月8日に『戦争体験を語り継ぐ集い』を開催しました。第1部では、「戦争体験者への取材から」というタイトルで、東京大学大学院修士2年の相原利彦さんに講演いただきました。第2部では、西尾幸子さんの実体験をもとにつくられた朗読劇「さあちゃんとヒロシマ」を上演しました。

40周年記念企画 みんなで平和について考えよう!



8月2日、中部エリアにて「40周年企画 みんなで平和について考えよう!」を開催し、雲南市三刀屋町にゆかりのある永井隆博士の人生をたどりながら平和について考えました。

持続可能な生産と消費のために

産地直結の取り組み

生協の産直は、「産地直結」を意味しています。生産者・メーカー、組合員、職員がお互いに顔を合わせ、理解を深めることを大切にしています。

飼料米田植え&稲刈り体験(JA出雲地区本部・旭養鶏舎・福田ファーム)

6月1日に「産直こめたまご」の鶏のエサとなる飼料用米の田植えを、稲刈りを10月26日に行いました。「生産者との顔が見える関係性」をつくることで食の安全・安心を広げることを大切にしている「産地直結：産直」の活動。こめたまごを作るうえでのご苦労、こだわりを知っていただく機会になりました。

(有)旭養鶏舎とこの数年間、特に組合員のみなさんと交流を重ね、理解を深めてきました。

10月30日に(有)旭養鶏舎で発生した鳥インフルエンザによる「産直こめたまご」供給中止後、一日も早い再建を願って、組合員からたくさんの募金と応援メッセージをいただきました。



組合員・生産者交流会

【カウベルミルクガーデン(出雲市)】



産直商品「まい!しまねの牛乳」の指定酪農家の1つである伊藤牧場(カウベルミルクガーデン)にて、交流会を開催しました。生産者から酪農の現状についてのお話を聞いたり、ミルクやり体験や生乳を使ったバターづくりを体験しました。

旭養鶏舎・福田ファームお招き

【隠岐の島エリア理事会】

(有)旭養鶏舎・(有)福田ファームから生産者2名をお招きし、総代・組合員交流会に参加していただきました。生産者のこだわりやご苦労、消費者の想い、両方の熱い想いをおしゃべりし、交流を深めました。

組合員・生産者交流会

【サン・くらふとの会(長野県)】



産直提携先の一つである「サン・くらふとの会」からりんごの生産者さんが3名、生協しまねを訪れ、出雲市、浜田市でそれぞれ組合員交流会を開催し、生産者さんとの絆を深めました。



もずく基金

対象商品は
このマークが
目印です。



もずく基金対象商品を購入いただくと、1点につき2円がもずくの産地である沖縄県恩納村漁協が取り組む『サンゴ礁再生事業』に活かされます。2024年度コープCSネット全体の基金額は、2,569,583円でした(生協しまねの基金額は156,788円でした)。

エシカルチャレンジの実施



普段何気なしに購入している商品が「エシカル消費」活動につながっていたんだなあとあらためて再認識。「お気に入り商品」がますます「お気に入り」になります。商品によってマークの色も変えてあり、小さなお子さんでも遊び感覚でチャレンジできる企画かなと思いました。

くらしの中にある「エシカル消費」に自分事として意識を持っていただけのように、「エシカルチャレンジ」への参加を組合員に呼びかけ応募総数は281名と、これまでで一番多くのチャレンジ数となりました。

声に応じて「ひとことカード」

「ひとことカード」からは、くらしの様々な場面から生まれてくる実感のこもった声が寄せられます。一人ひとりの声から、くらしの背景や起こったことをさらに聴くことで、共感が生まれ、「かたち」になります。声を受け止め、生協しまねの独自カタログ「だいすき」で企画したり、改善につなげていくことが共に創る豊かな暮らしの一步につながります。

組合員から寄せられる商品の声、運営に対する声に、100%お返事ができるよう取り組んでいます。

| | 2023年度 | 2024年度 |
|--------|--------|--------|
| 受付件数 | 1,514件 | 1,139件 |
| 回答件数 | 1,514件 | 1,139件 |
| 回答率(%) | 100% | 100% |

「お申し出受付カード」…商品苦情

組合員からのお申し出(商品苦情)については、調査の上、文書で回答することを基本にしています。2024年度の受付件数は407件で前年比91.7%(37件減)。コープCSネット企画(以下、CS)は328件で前年比86.8%(50件減)、生協しまね独自企画(以下、独自)は79件で前年比119.7%(13件増)。

平均回答日数は、CSが12.5日(前年同期13.1日)、独自が9.4日(前年同期12.8日)。何れも目標の14日以内を達成しました。

これからも支所と本部が連携して誠実な対応、迅速な調査・回答に努め、商品の品質改善につながるよう取り組んでいきます。

●受付状況

| | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 受付数(件) | 714 | 583 | 475 | 444 | 407 |
| 前年対比(%) | 136.5 | 81.7 | 81.5 | 93.5 | 91.7 |

●2024年度部門別お申し出件数

| 部門 | CS企画 | | | | | | | 独自企画 ルベの生協 夕張(北海道) だいすきストア | | |
|--------|--------|-------|-------|--------|-------------|---------------|-------|-------------------------------------|-------|------|
| | 農産 | 水産 | 畜産 | 日配 | 食品 (加工品) | その他 (サービス) | 食品計 | | | |
| 件数 | 87 | 14 | 6 | 82 | 41 | 19 | 249 | 79 | 328 | 79 |
| ※()は前年 | (101) | (22) | (19) | (72) | (34) | (20) | (254) | (124) | (378) | (66) |
| 構成比(%) | 34.9 | 5.6 | 2.4 | 32.9 | 16.5 | 7.6 | 100 | | | |
| ※()は前年 | (37.7) | (8.2) | (7.1) | (26.9) | (12.7) | (7.5) | (100) | | | |



未来の地球のために

事業活動、省エネ、CO2削減の取り組み

地球温暖化防止に向けて 温暖化防止自主行動計画

生協しまねは、全国の生協と「地球温暖化防止自主行動計画」を策定し、CO2排出量の削減に取り組んでいます。2024年度の二酸化炭素(CO2)排出量は、1,525トンでした。(前年比95.7%)

1. 電気使用状況

24年度の電気使用量(推計値)は1,702,937kwh(前年対比99.9%)で前年を下回りました。使用量の64.2%を共同購入の施設が占めています。
※全体消費電力量の約1/2を占める商品センターの削減が課題です。

| | 2024年度 | 2023年度 | 前年比(%) | 構成比(%) |
|--------|-----------|-----------|--------|--------|
| 共同購入 | 1,092,577 | 1,077,672 | 101.4 | 64.2 |
| 商品センター | 533,122 | 551,195 | 96.7 | 31.3 |
| 本部 | 77,238 | 76,251 | 101.3 | 4.5 |
| 全体 | 1,702,937 | 1,705,188 | 99.9 | 100.0 |

(単位:kwh)

2. 車両燃料使用状況

生協しまねは、共同購入が事業の中心であり、生協全体の車両燃料使用の大部分は配達車両によるものです。商品配達に欠かせないトラックですが、燃料使用、排出ガスなどの効率化による走行距離削減やエコドライブの推進などにより削減に努めました。

| | 2024年度 | 2023年度 | 前年比(%) | 構成比(%) |
|------|-----------|-----------|--------|--------|
| 軽油 | 193,264.5 | 191,097.9 | 101.1 | 87.2 |
| LPG | 0.0 | 0.0 | - | - |
| ガソリン | 28,407.5 | 27,467.6 | 103.4 | 12.8 |
| 全体 | 221,672.0 | 218,565.5 | 101.4 | 100.0 |

(単位:ℓ)

①しくみ(マップシステム)を使い配送コースを見直すことを継続して取り組みます。共同購入では、配送マップシステムを使用した配送効率改善とエコドライブの取り組みによる車両燃料の削減に取り組んでいます。

3. リサイクル活動

共同購入では、毎週発行するチラシや商品を仕分けしている袋、牛乳パック、たまごパックを回収して「コープCSネットエコセンター」でリサイクルを行っています。

●リサイクル品回収実績(24年度累計)

| 種別 | 累計回収量(kg) | 回収率(%) | 前年比(%) |
|-------|-----------|--------|--------|
| 牛乳パック | 19,743 | 62.2 | 98.5% |
| 共同購入袋 | 17,041 | 29.9 | 101.3% |
| チラシ類 | 1,361,644 | 76.7 | 97.2% |
| 卵パック | 9,724 | 64.8 | 86.4% |

4. 生協しまねソーラー発電所

- 2013年4月からソーラー発電所を稼働。商品センター(出雲市長浜町)に1,190枚の太陽電池パネルを設置。(一般家庭の約70世帯分の電力に相当)
- 2024年度より浜田支所において、自家消費型太陽光パネル及び自動車給電装置を導入。
- 一年間の総電力量は314,695kwh、売電実績(金額)10,913,014円でした。



屋根の上と駐車場に設置された太陽光発電パネル

5. 環境支援活動



■コープ洗剤キャンペーン環境寄付金確定報告

コープ洗剤8品目を対象商品のご利用1点あたり1円の協賛金を積み立て、「インドネシア領ボルネオ島小規模パーム農家の生産体制の改善支援」に役立てられます。(基金額:コープCSネット全体で351,745円)



人にやさしく誇りがもてる組織を目指して

職場の安全・安心

1. 雇用・採用の状況

(1) 雇用及び新卒採用の状況

○2024年度末の雇用状況及び新卒者の状況は以下の通りです。

| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|---------------------|----------|----------|---------|---------|
| 正規人数(前年差) | 161(+42) | 172(+11) | 179(+7) | 183(+4) |
| 定時人数 ※配送スタッフ含む(前年差) | 119(▲7) | 118(▲1) | 117(▲1) | 110(▲7) |
| 新卒採用 | 2 | 9 | 7 | 10 |
| 平均年齢 | 42.9 | 42.8 | 43.0 | 43.2 |

多様な働き方を支える新人事制度を2021年度から導入し、登用制度を引き続き実施しました。

※2021年度より正規人数は、ゼネラル職員・エリア職員・ジョブ職員の合計数

(2) 障がい者雇用の推進

○「障がい者雇用の促進等に関する法律」により障がい者の法定雇用率は、令和6年から雇用人数に対して2.5%となりました。島根県における障がい者雇用は以下のような状況で、全国的に見ても雇用率は比較的高く、法定雇用率達成企業は全国でも高い水準となっています。

島根県の状況:障がい者雇用率2.89%(前年よりも0.06%増加、全国平均:2.41%)

※令和6年島根労働局職業安定部「障害者雇用状況調査結果の概要」より

(数値は、令和6年6月1日現在)

島根県の法定雇用率達成企業割合:66.3%(前年よりも3.3%減少、全国平均:46.0%)

○生協しまねの障がい者の法定雇用人数は5人となっていますが、現在の雇用数は1.0名です。引き続き障がい者雇用に向けた活動を推進します。

2. 労働安全衛生

(1) 健康診断など職員の健康づくり

○産業医と協力しながら、職員の健康づくりに努めています。健康診断の実施、定期的な腸内細菌検査(検便)、法令でも義務化されたストレスチェック等も継続しながら、職員の健康状態を確認し改善に努めます。

(2) 労働安全

○2024年度はISOの品質目標として数値目標をもって取り組みましたが、労働災害事故発生件数は13件(前年差+4件)でした。雨の日の転倒や荷台からの乗り降り時の事故に対する注意喚起を促しました。

また、熱中症対策として空調服・飲料や塩分サブリの配布を引き続き行いました。

○各事業所が月1回実施する「職場巡回チェックシート」の結果をもとに職場内の環境改善については、必要な対応を進めています。

| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 労働災害件数 | 18 | 7 | 9 | 13 |

3. ワークライフバランス

(1) 総労働時間の短縮、時間外労働削減

○総労働時間は+24.9時間の増加となりました。支所責任者を中心に増加しました。効率的な仕事、生産性を高める仕事を目指して改善活動を行っています。

○時間外労働時間は、支所では前年より+0.9時間増加し、本部では前年より▲0.8時間減少しました。支所においては、業務の見直し活動(業務改善)を推進して削減に努めました。

| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|
| 総労働時間(前年差) | 2,034.7(+13.6) | 2,167.9(+133.2) | 2,183.0(+15.1) | 2,207.9(+24.9) |

| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|----------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 残業時間(前年差) | 22,325時間(▲3,601) | 38,196時間(+15,871) | 40,312時間(+2,116) | 42,724時間(+2,412) |
| 1人あたり残業時間(前年差) | 支所:23.0(▲3.6) 本部:7.9(▲2.0) | 支所:22.4(▲0.6) 本部:8.9(+1.0) | 支所:24.4(+2.0) 本部:8.1(▲0.8) | 支所:25.3(+0.9) 本部:7.3(▲0.8) |

※22年度よりゼネラル・エリア・ジョブの合計としています。

(2) 有給休暇取得率の向上

○生協しまねでは有給休暇の取得率向上の取り組みを推進しています。2024年度の有給休暇取得率は以下表のようにゼネラル職員は▲2.1%減少しました。

エリア職員は▲2.3%減少、定時職員は+0.4%増加しました。

人手不足も影響し、取得率が昨年より減少しました。

○令和6年厚生労働省の就労条件総合調査によると、労働者の年次有給休暇の取得率は65.3%(前年差+3.2%)となっています。生協しまねの取得状況は一般と比較すると高い水準となっています。今後も継続して取り組みを進めていきます。

| | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| ゼネラル職員(前年差) | 63.4%(▲3.6%) | 93.6%(+30.2%) | 77.7%(▲15.9%) | 75.6%(▲2.1%) |
| エリア職員(前年差) | 79.2%(▲1.8%) | 90.1%(+10.9%) | 86.6%(▲3.5%) | 84.3%(▲2.3%) |
| 定時職員(前年差) | 89.2%(+18.3%) | 93.5%(+4.3%) | 87.7%(▲5.8%) | 88.1%(+0.4%) |

4. ハラスメント対策の取り組み

○生協しまねでは、ハラスメント関連の相談窓口を管理部総務チームとしています。職員の人権を尊重することはもとより、より働きやすい職場環境の実現や維持のため、コンプライアンス、人間関係、迷惑行為など各種ハラスメント等の相談窓口を設けています。

○相談窓口については役職員全員に資料(ISOの取り組みで配布しているポケット版冊子)を活用しながら周知しています。

5. 個人情報保護の取り組み

○生協しまねでは、個人情報保護に関する法令および諸規定を遵守するとともに、2005年に「個人情報保護方針」を定め、組合員や職員等の個人情報の適切な保護や管理に努めています。この方針はHP等で外部にも公表しています。

○個人情報の保護や管理、事故発生時における迅速な対応ができるよう体制を整備するとともに、規程類も整備しています。これらの体制や運用管理の実務は管理部総務チームが中心となり、規程類の運用状況確認や事故報告の取りまとめをしています。体制面では、個人情報管理責任者を選任、各部署に個人情報管理者を任命・配置し、規程類の遵守に努めています。あわせて、毎年職員にも学習会を計画し実施して、個人情報の取扱いについて認識を維持するよう教育・啓発活動をしています。

○これらの遵守状況を点検するため、個人情報保護規程類にもとづく「内部監査」を実施し、必要な指摘をするとともにそれらの改善を進めています。

6. 労働組合との関係

○生協しまねは労使の十分な話し合いの下、協力して目的の達成に向けた努力ができる環境づくりを推進しています。

○重要な経営課題については、労使間で月1回を基本に定期開催している「経営協議会」で検討・協議し、労働組合からの業務の現況を踏まえた提言を受けながら、議論をしています。人事・労務関連の諸制度の運用・改定についても、労使双方の課題認識をもとに十分協議した上で実施しています。

品質マネジメントシステム(ISO9001:2015)の取り組み

取り組み経過と認証範囲

1. 取り組み経過

品質マネジメントシステムの取り組みは2004年からスタートし、2005年5月に初回審査を受け、同年7月に認証取得。2024年度で19年目を迎えました。

当初の取得目的は以下の①～③で、これらのごを形とするため、国際基準である品質マネジメントシステム(ISO9001)を支援ツールとして活用していくというものでした。

- ①急激な社会情勢の変化に対応していくこと。
- ②今後将来に渡り、組合員のくらしに役立ち続けるための組織力(人含む)をつけること。
- ③上記のために基本業務を確実に実行でき、無駄や無理なく効率/効果的な仕事の基盤作りをすること。

(1)2007年 共済、子会社である(有)協同サービスしまねを適用拡張(取得後、2年経過)

2007年に共済(現在:共済チーム)、(有)協同サービスしまねへの認証を拡張させました。生協しまねが今後事業を進展させていく上で、コンプライアンスやリスク管理という観点、また業務が煩雑化し、顕在化できていない部署の整理を進めました。

(2)2009年 総務課を適用拡張(取得後、4年経過)

法令遵守、文書管理等の改善、教育訓練の状況から、総務課(現在:総務チーム)を認証範囲に拡張しました。教育の面においては、OJT(on the job training)中心では限界があり、将来的に組織として人材育成に取り組むためには無理がありました。この拡張により将来的な組織全体としての取り組みにつなげられるようになりました。

(3)2013年 全支所への適用拡張(取得後、8年経過)

2011年度の全体方針「コンプライアンスの徹底を図る視点から支所のQMS認証取得に向けての教育、仕組みの整理をする」を受けて取り組みをスタートしました。2013年の審査を受けて全支所を認証範囲に加え、ほぼ生協しまね全体の取り組みとしました。

この適用拡張にあわせて以下のような業務の取り込みや整理をしました。

- ①安全運転、配送品質(顧客満足度アップ)に関わる業務
- ②夕食宅配の業務
- ③コープCSネットとの連携強化やその他の委託先の管理部署、管理方法や指標の明確化

(4)2017年 ISO9001:2008から2015年版への移行

ISO規格が2015年に改定・発行されたことを受けて、2015年版への切り替えを行いました。利害関係者、リスク及び機会、組織の知識、パフォーマンス評価などの

項目が追加され、全面的に見直しをして10月から運用を開始しました。

また、生協しまね本体を中心に構築した現行マネジメントシステムに、子会社の(有)協同サービスしまねが馴染まないこと等の不具合により、(有)協同サービスしまねを認証範囲から外しました。

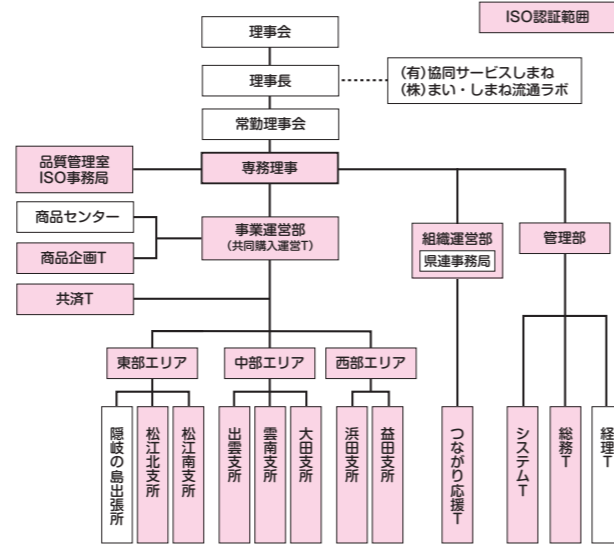
(5)2018年 食品衛生法一部改正でISO9001と衛生管理手法のHACCPを統合

食品衛生法が一部改正され、国際的な衛生管理手法であるHACCPが法制化されました。生協しまねもこの法制化の対象であるため、食品安全チームを結成してHACCP(衛生管理計画)を検討、構築し、2018年12月から運用を開始しました。継続的な仕組みの検証、見直し等も求められるため、ISO9001の仕組みと統合しました。

(6)2021年 CSとの物流統合完結により商品センターを認証範囲から除外

2. 認証範囲

2024年度業務体制図



内部監査

全指摘件数は64件(前年比90.1%)でした。指摘事項別にみると、不適合2件(前年比100.0%、増減なし)、観察事項29件(前年比103.6%、1件増)、推奨事項33件(前年比80.5%、8件減)。

不適合は前年と同様に過去5年間で最少、観察は過去3年のやや減少から微増に、推奨は4年ぶりに減少しました。

指摘内容で一番多かったのが職員の教育・訓練に関する15件。次いで、リスク・機会に関する7件、品質目標と文書管理が各6件となっています。

2020~2024年度 指摘事項別件数推移表 (件)

| | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|------|-------|--------|--------|--------|-------|
| 不適合 | 4 | 3 | 3 | 2 | 2 |
| 観察事項 | 15 | 31 | 30 | 28 | 29 |
| 推奨事項 | 23 | 33 | 38 | 41 | 33 |
| 合計 | 42 | 67 | 71 | 71 | 64 |
| 前年比 | 60.9% | 159.5% | 106.0% | 100.0% | 90.1% |

外部監査

1. 監査の結果

2024年5月21日~22日の2日間、審査登録機関DNVによる第1回定期監査が実施されました。

(1) 審査内容

審査規格:ISO9001:2015
 審査機関:DNV(審査員2名)
 審査部署:下記(2)①の表のとおり
 焦点エリア(重点的に審査する事項):
 エリアや支所特有のリスクと機会の明確化の有効性

(2) 審査結果

①指摘件数:4件

部署ごとの指摘事項内訳は以下表のとおりです。

| | トップ | ISO事務局 管理責任者 | 共同購入運営T 商品企画T | 品質管理室 | 支所 | | 合計 |
|-------|-----|-----------------|------------------|-------|-----|-----|----|
| | | | | | 松江北 | 松江南 | |
| 不適合 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 観察事項 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 改善の機会 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 合計 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 4 |

<不適合>

仕組みやその運用について不備がある場合の指摘。是正処置と審査機関への報告が必要。

<観察事項>

不適合ではないが放置しておくとその可能性がある場合の指摘。

<改善の機会>

ルールにそって運用されているが、より効果的に運用した方が望ましい改善指摘。

②焦点エリアの結果

焦点エリア:
 エリアや支所特有のリスクと機会の明確化の有効性
 <良い活動>2件
 ・松江北支所…業務委託先との様々な支障について、所内でコミュニケーションを密にして改善。また、コロナ禍を経て変化する要因に積極的に関わることで状況を把握し、対処している。

・本部…コロナ禍後、大手資本のスーパーやドラッグストアの進出に対し、付加価値を向上させる様々な施策を実施。また、時勢に合わせた方法で要員の力量をアップし、コミュニケーションを強化。

③その他

<不適合>1件
 ・松江南支所…再発防止の横展開が未実施であり、是正処置プロセスの有効性が確認できない。

<観察>1件
 ・ISO事務局…規格が要求する10.2.1 b) 3)「類似の不適合の有無、又はそれが発生する可能性を明確にする。」に対して実施記録が不明解。

<改善の機会>2件
 ・松江北支所…配送車の事故発生による配送遅延の対応を記録し、管理精度を上げる事に検討の余地あり。

・松江南支所…冷却設備動力盤の一部手書きによる掲示内容について、誤った理解につながらないよう管理に改善の余地あり。

<良い活動>4件
 ・本部…内部監査について、件数のみならず指摘の内容が業務品質に及ぶものが多く、確実な運用と状況に応じた改善につながる結果となっている。

・松江北支所…共済目標未達を受け、委託会社とのコミュニケーションからターゲットをより明確にした戦略を実践。今期目標達成への寄与が期待される。

・松江南支所…配送担当の組合員への対応が非常に丁寧で、お互いの信頼関係の深さが印象的。
 ・商品企画T、共同購入運営T…特色あるメニューの提案や組合員募集の企画など、目標達成に向けて様々な取り組み、努力されている。

2. 指摘事項の対応

「不適合」「観察事項」「改善の機会」について、ISO事務局で対応案を検討・整理して当該部署に発信。それぞれの取り組み状況を確認しながら対応を完了しています。

3. 次回の監査

- (1)第2回定期監査
- (2)日程:2025年5月21日~22日

たすけあい J1000円コース お誕生日前申し込み

妊娠22週未満のお子さまがいるママとパパへ

あなたに渡す、最初のお守り

コープ共済のこども向け保障

たすけあい J1000円コースが、

お誕生日前の赤ちゃんも 申し込めるようになり ました!

お申し込みできる妊婦さんの年齢(申込日時点)

満18歳～満43歳

妊娠週数(申込日時点)

妊娠22週未満 ※単胎または双胎妊娠に限る

妊産婦さんにやさしい
環境づくりを応援します



月掛金1,000円で、手厚い保障が満30歳まで続きます。

※加入できる年齢: 満19歳まで

たすけあい J1000円コース

入院は
1日目から保障!
日額6,000円

ケガ通院も
1日目から保障!
日額2,000円

入院を伴わない
日帰り手術も保障!
※共済事業規約に定める支払
対象手術を受けた場合

《たすけあい》
について詳しくは
商品パンフレットも
ご覧ください。

※ご加入には一定の条件があります。

CO・OP 共済

母子手帳をもらったら始めよう
妊娠中からできる赤ちゃんへの”備え“

取材文・上之郷知寿 撮影・花田栞

読者モデル/
玲輝(れいき)くん(1ヵ月)

お子さまのための保障
《たすけあい》J1000円コース
お誕生日前申し込み

Point 1
お誕生後すぐに
保障がスタート※1

Point 2
お子さまの
健康状態に関係なく
申し込める※2

※1 初回掛金振替後、出生日に遡って保障が開始します。なお、健康保険適用とならない場合、共済金はお支払いできません。
※2 妊婦さんの健康状態について改めて告知事項Bへの回答が必要です。

注目!
申し込み前に必ずチェック!

- 妊娠22週未満※3
- CO・OP共済《たすけあい》にご加入中※4の満18歳～満43歳の妊婦さん

※3 単胎または双胎妊娠が対象です。妊婦さんが契約者となり、赤ちゃんを被共済者としてお申し込みいただけます。
※4 告知欄やか1000円コース、J1900円コース、募集停止コースを除く。お誕生日前申し込みと同時に新規・更改加入する場合も含む。

*詳しくはお誕生日前申し込み専用サイトをご覧ください。

先輩ママ・パパの声から
誕生した保障
今までお子さまの保障は、出産後に加入するのが一般的でした。そのため生まれてすぐ大きな病気を発症したり、障がいがあると、出産後の健康状態によっては保障への加入が難しく、不安を感じるママ・パパも...
CO・OP共済の「《たすけあい》J1000円コース お誕生日前申し込み」なら、今まで加入が難しかったお子さまも保障を備えられるように! 読者モデルの玲輝くんママ、千晴さんも「出産はうれしい反面、不安もあるので、息子が生まれる前にあたら申し込みしたかったです」とのこと。
母子手帳をもらったら、ぜひ申し込みの検討をしてくださいね。

【CO・OP共済に加入するには】
出資金をお支払いいただき、お近くの生協の組合員になる必要があります。
【利用目的】
日本コープ共済生活協同組合連合会は、CO・OP共済の資料請求にあたって皆様からお預かりした個人情報を、次の目的で利用します。
●CO・OP共済資料の送付
●生協案内資料の送付
●CO・OP共済ならびに生協加入のご案内
【個人情報の第三者への提供】
日本コープ共済生活協同組合連合会は、会員生協と共同でCO・OP共済事業を行っています。資料の送付およびその後のご連絡は、日本コープ共済生活協同組合連合会がお預かりした個人情報を提供の上、ご加入の生協もしくはお近くの生協より行います。個人情報の取り扱いについて、詳しくはCO・OP共済のホームページをご確認ください。
契約引受団体/日本コープ共済生活協同組合連合会
《たすけあい》はご加入の生協によっては、その生協の加盟する連合会との共同引受になります

お誕生日前申し込みの詳細はこちら!
(お誕生日前申し込みはWEBでのみお手続きいただけます)



コープ共済センター
お誕生日前申し込み専用お問い合わせ先 ☎0120-77-9431
受付時間9時～18時(月曜日～土曜日/日・祝日は休業)

明日の暮らし、ささえあう
CO・OP 共済

この記事は、
2025年1月31日発行の
Happy-Note For
マタニティ vol.29に
掲載されたものです。

[CO・OP共済ニュース] K-87213-2504

お問い合わせ/日本コープ共済生活協同組合連合会(コープ共済連) コープ共済センター 資料請求窓口: ☎0120-497-775
受付時間9時～17時(月曜日～金曜日、土曜日は16時まで) ※日・祝日・年末年始12/31～1/3は休業 <https://coopkyosai.coop>